

# ITの利用による業務の効率化とガバナンス

## Governance of IT for efficiency of business

清水恵子

Keiko SIMIZU†

†公認会計士

†Certified Public Accountant(CPA)

2017.06.02

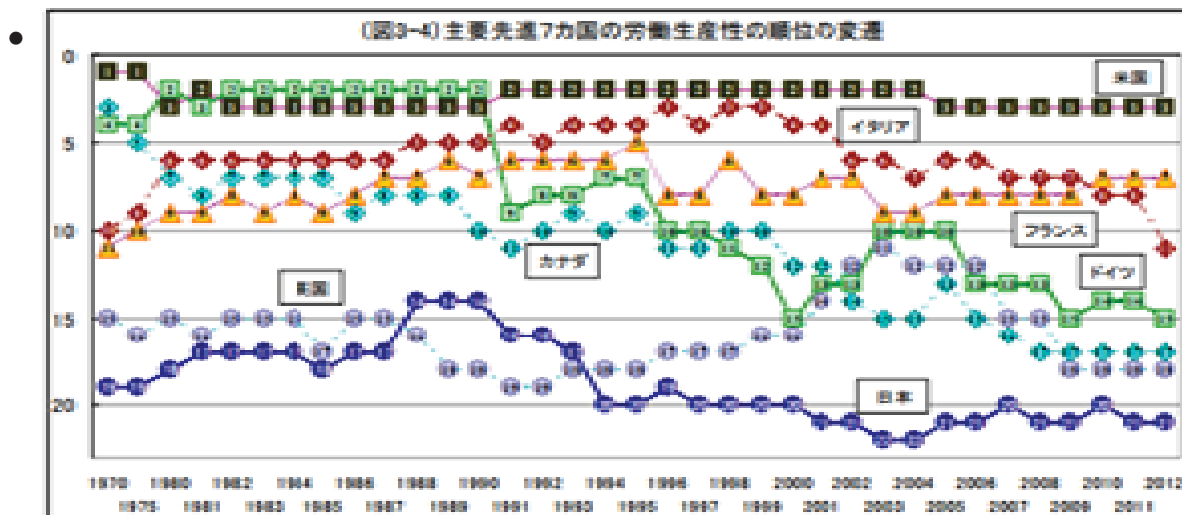
## ITの利用のガバナンスと業務の効率化

- JEITAや総務省の調査結果
- 米国、ドイツとの比較で以下の結果がある。
  - 日本の労働生産性は低い
  - IT投資は攻めの経営よりは守りに向いている
  - 日本の経営層は、IT新技術について知らない
- 何故、その差がでるのか—根本原因は？
  - 金融を緩和の投資促進効果は？
- 単に経営者に頑張れで良いのか？



## 主要先進7カ国の労働生産性の順位の変遷

(出典)公益財団法人日本生産性本部「労働生産性の国際比較」2013年



## ネットワークシステムの信頼性

- PDCAサイクル(IVIのHP「よくある質問」)
- 改善のプロセスの存在があっても、信頼のレベルの保証ではない
- いかなるアプローチで保証するか
- IIAの三線防御(最後の砦が監査?) (出典)IIA「THE THREE LINES OF DEFENSE」
- IN EFFECTIVE RISK MANAGEMENT AND CONTROL」Position Paper: 2013 より

THE FIRST LINE OF DEFENSE: 第1線	OPERATIONAL MANAGEMENT オペレーションレベルの統制 現場での管理
THE SECOND LINE OF DEFENSE: 第2線	RISK MANAGEMENT AND COMPLIANCE FUNCTIONS リスクマネジメント、コンプライアンス機能
THE THIRD LINE OF DEFENSE: 第3線	INTERNAL AUDIT 内部監査

## ビジネスモデルについて

IPAの「「中小企業等のIT活用に関する実態調査」[9]p168

BtoC では 7 割近くが「自社独自の仕組みとして導入」すると回答している。:標準化との兼ね合いはどうする

繋がる工場でも独自の技術屋ノウハウが漏えいしないかは懸念事項

・投資は、資産への投資？会計処理

## クラウドの利用

IPAの「「中小企業等のIT活用に関する実態調査」[9]p142P144－P145

- 利点は安価
- 懸念は
- 「セキュリティ対策が十分かどうかわからない」(35.0%)
- 「トラブル発生時の問題判別・対処が困難となる」(20.2%)
- 「本当にコストダウンするかどうかわからない」(16.1%)
- 第3位は「トラブル発生時の問題判別・対処が困難となる」(14.4%)  
「データの完全性への不安がある(破損、消失)

## 信頼性を確保する保証は

- AICPAとJICPAの保証業務
- 一般にも分かりやすい保証は要求レベルが高い
- 認証のマークはPDCAサイクルを示すマーク

	AICPA	JICPA
財務報告	SOC1	監査実務86号
受託業務	SOC2	IT7号
Trust	SOC3	IT2号

## 新技術への対応 一般に分かりやすい制度、仕組が必要

- セキュリティは全て情報開示は難しい
- 認証だとレベル感がわからない(大企業、小規模事務所)
- 契約が分かりにくい
- 一定のレベルの保証は必要: SOC3の合格は難しい
- SOC1、SOC2の内容は専門家向: 内容は契約した関係者に公開
- IPA中小企業のためのクラウドサービス安全利用の手引き
- IPAクラウド事業者による情報開示の参照ガイド
- 利用者が利用の可否を判断できる明示する制度、仕組が必要
  - 高い理由、安い理由がわかる開示
  - バックアップやトラブルサービス等疑問に答える説明を分かり易く開示
- 開示が要件を満たしているかの検証: 時間とお金がかかりすぎるとスピードが落ちる

## 新技術の開示の監査(内部:外部)

- 新技術の発展のために新規
- 一定の決められた内容の開示の内部監査
- 利用者からのクレーム等により、外部の監査
- 違反行為の罰則

## 新技術(ITの利用)のガバナンス

### —自分の発言に責任を持つ意識が必要—

- 新技術の発展を妨げない
  - ローコスト
  - 簡易な統制
  - 自主的な統制(プリンシパルベース)
- 責任は明確に
  - 自己の方針、意見の表明
  - 自己点検の表明
  - 内部監査
  - 言明する意味
- 外部の監視と罰則
  - 利用者からのクレーム等
  - 外部監査の実施
  - 虚偽の表明の罰則
- 制度とする場合の課題
  - どこが管轄するか
  - だれが監査人か
  - 監査の品質(育成、管理)
  - 監査人にも罰則が必要?

## 今後の研究

- IT利用のガバナンスと効率化について
- ITの投資について
  - 投資にはリスクがある。
  - リスクは、目的からの乖離とすると
  - ITを利用するのは、組織の目的達成のため
  - ITを利用することによるリスクは何か
- 新技術のシステム監査の在り方について注力する

以上